

## 石原謙先生略年譜

- 明治15年8月 東京市本郷区本郷4丁目39番地に生る。(1日)
- 34年3月 第一高等学校第一部文科に入学
- 37年7月 同校卒業，東京帝国大学文科大学史学科に入学，翌年9月哲学科に転科
- 40年7月 東京帝国大学文科大学卒業，大学院に進学
- 41年4月 明治学院高等学部講師（大正7年7月辞任）
- 45年7月 大学院に卒業論文「アレクサンドリアのクレメンスの哲学」を提出す。
- 大正6年10月 早稲田大学講師（10年3月辞任）
- 7年9月 東京帝国大学文科大学講師
- 8年4月 東京女子大学講師（13年3月辞任）
- 大正10年4月 東京帝国大学大学院卒業により文学博士の学位を授与される。
- 7年9月 東京帝国大学文科大学講師
- 10年4月 文部省在外研究員としてドイツに渡航。10月ハイデルベルク大学に入学。
- 10年8月 東京帝国大学助教授に任ぜられる。
- 11年10月 スイス，バーゼル大学に転ず。
- 12年10月 帰任。東京帝国大学文学部哲学第二講座分担
- 13年7月 東北帝国大学教授法文学部教授第二講座担任
- 昭和9年10月 東北帝国大学法文学部長，12年7月に至る。
- 15年9月 同大学教授を辞任
- 15年12月 東京女子大学長就任
- 23年7月 新制東京女子大学長を辞任
- 25年4月 学習院大学及び青山学院大学講師就任
- 27年4月 青山学院大学教授就任

- 昭和28年10月 日本学士院会員に選ばれる。
- 30年9月 国際基督教大学講師（41年7月辞任）
- 37年11月 文化功労者に選ばれる。
- 41年1月 講書始において御進講。
- 48年3月 ハイデルベルク大学より名誉神学博士（Dr. Theologiae honoris causa）を授与される。

#### その他 関係の諸機関

- 文部省大学学術局大学設置審議会第四特別委員会委員，昭和23年3月以降
- 日本基督教団教学委員，昭和21年以降，25年制度改正信仰職制委員会委員，昭和23年10月以降，37年に至る
- 中世哲学会委員長，昭和26年5月以降，41年辞任
- 日本基督教学会理事長，昭和28年10月以降41年辞任
- 日本宗教学会名誉会員，昭和30年10月以降
- 東京神学大学評議員，昭和30年以降，41年辞任

## 石原謙先生著書目録

- シュライエルマッヘル著，石原謙訳，「シュライエルマッヘル宗教論」，内田老鶴圃，大正3年
- 「宗教哲学」（哲学叢書），岩波書店，大正5年
- ハンス・フォン・シューベルト著，「宗教改革の世界史的意義」，石原謙訳註及び著者小伝，岩波書店，昭和6年
- マルティン・ルター著，石原謙訳，「基督者の自由，他三篇」，（岩波文庫）；岩波書店，昭和8年，「キリスト者の自由，聖書への序言」，新訳，昭和30年
- 「基督教史」，（岩波全書），岩波書店，昭和9年；増補版，昭和13年；増訂版，昭和26年

- 「新約聖書」, (大思想文庫), 岩波書店, 昭和10年, 昭和22年
- マルティン・ルター著, 「信仰要義」, (岩波文庫), 石原謙訳, 岩波書店, 昭和14年
- 「マルティン・ルターと宗教改革の精神」, 教文館, 昭和19年
- 「キリスト教思想史」, (角川全書), 角川書店, 昭和24年
- 「中世キリスト教研究」, 岩波書店, 昭和27年
- 「学究生活の思い出」, 石原謙博士文集刊行会, 中央公論社発行, 昭和34年
- 「日本キリスト教史論」, 新教出版社, 昭和42年
- 「宗教改革者ルターとその周辺」, 新教出版社, 昭和42年
- 「キリスト教の源流—ヨーロッパ・キリスト教史上巻」, 岩波書店, 昭和47年
- 「キリスト教の展開—ヨーロッパ・キリスト教史下巻」, 岩波書店, 昭和47年

論文, 辞典, 講座その他, 省略

(以上 加藤武編)